

給料アップ!

人を増やして!



## 女性労働者7942人に聞きました!

あなたの働き方はいかがですか?

やめたいと思う  
72%

「いつも思う」と「時々思う」を合わせると7割超となりました。やめたいと思う理由の1位は「多忙で身体的・精神的にきつい」(50.1%)、2位は「仕事に見合った賃金が支払われていない」(33.3%)でした。過重労働で賃金が低い女性労働者の実態が浮かび上がります。



具合が悪くても  
休めない

具合が悪いのに働いている人が半数以上いました。休めない理由は1位が「人員不足で職場の体制がない」(39.9%)、2位が「仕事が多忙」(34.3%)、3位が「同僚への気兼ね」(33%)となり、生理休暇の取得率も13.6%と低い実態がわかりました。きちんと休める人員配置は使用者の責任です。



## 私たちと一緒に! 労働組合で要求実現しよう!

### 労働組合なら、使用者と対等に交渉できる!

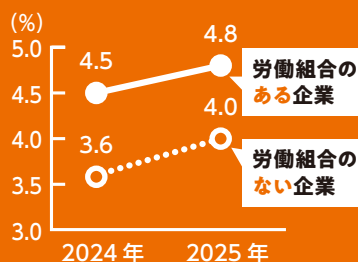
労働組合法は、憲法28条で保障されています。この法は、「労働三権」(団結し、団体で交渉・行動)を実現するために制定されており、労働者は使用者(会社)と対等な立場で交渉し、労働条件の改善を図ることができます。

あらゆるハラスメントと女性や性的マイノリティ差別の根絶をめざすキャンペーンに取り組んでいます

### 労働組合があってこそ賃金の引上げがすすむ

厚労省が、公表した2025年の賃金の引き上げ率は、労働組合が「ある」は4.8%、「ない」は4.0%と、0.8ポイントもの差があります。

賃上げ率の推移(厚生労働省調べ)



# 日本の経済力は世界第5位なのに 私たちの暮らし、なんでこうなの？

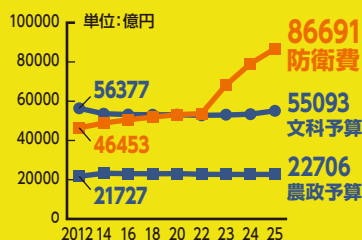
くらしが依然厳しさを増しています。「賃金が上がらない」「米が高くて買えない」「奨学金という名の借金はいつまで？」

私たちの生活の保障は政治の責任です。しかし政府は軍備増強に5年間で43兆円もの  
お金を使う一方、医療や教育、社会保障の充実には背を向けています。

私たちが働いて納めた税金は、私たちのくらしと平和のために使われるべきです。

## ミサイル より くらしに

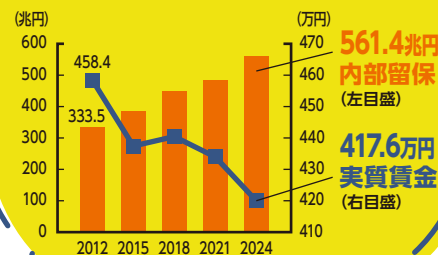
教育予算を  
追いついた防衛費



私たちが働いて  
納めた税金は  
くらしに使って！

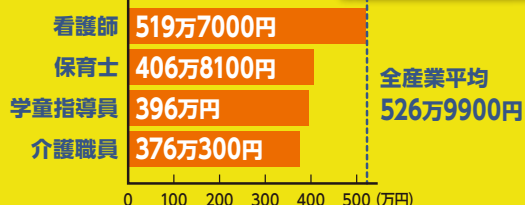
## 賃金の 大幅引上げ、 底上げを

増え続ける大企業のためこみ利益  
下がり続ける実質賃金



## ケア 労働者の 賃上げを

専門職の賃金が  
全産業平均より低いなんて



厚生労働省「職業情報提供サイトjob tag」および「令和6年賃金構造基本統計調査」より

## 最低賃金 今すぐ 1700円以上 全国一律に

最低賃金の  
地域間格差がひどい！

最高 1226円/時・東京  
最低 1023円/時・3県  
1年間で 36.5万円の差  
中小企業支援を  
国の責任で

「抑止論」は時代遅れ  
戦争を起こさないためには対話しかない

軍備拡大は戦争抑止の力にならないばかりか、両国の緊張を高め偶発的な戦争勃発の危険を高めます。

日中間には「互いに協力のパートナーであり、互いに脅威にならない」（2008年日中首脳会談共同声明）という約束があります。韓国のイ・ジェミョン新大統領は「軍事のみに依存して国家を守る時代は過ぎた」「平和共存体制の構築が切実に求められている」と南北対話を進める姿勢を示しています。ASEANは政府の各級会議を積み重ね、国同士の信頼を醸成してきました。米中露日韓にも平和の枠組みへの参加を呼びかけています。いま必要なのは、ASEANに学び、対話の積み重ねで問題解決を図る外交姿勢です。

あなたの困りごとは何ですか？ 私たちと一緒に考えましょう

ストライキ  
2026.3.6 女性の休日

職場・家庭で、日本でも。

ドキュメンタリー映画「女性の休日」公式HP ▼

1975年10月24日、アイスランドで全女性の90%が仕事や家事を一齐に休んだ前代未聞のムーブメント「女性の休日」。女性がいないと社会が回らないことを示しました。2025NGO日本女性大会で、パネリストから「日本でも2026年3月6日に『女性の休日』を」と呼びかけがありました。3月6日何ができるか、みんなで話し、行動しましょう。

